SITZ TIMES

第 4 号（2017 年冬 発行）
株式会社　しっつ
京都市伏見区両替町四丁目 320 番地 1
HP：https://www.sitz.co.jp
＊ バックナンバーは上記 HP をご覧下さい
＊ Facebook も更新中！

今年も新しい年が始まりました！－年頭式－

今年も新しい年がスタートしました！
弊社では毎年、年の初めに【年頭式】が行われ、社長が年始の挨拶とその年の方針を発表します。
今年の方針は『ベクトルを同じに！現在(いま)を刷新！』。
今年度はさらに社員が同じ方向性を目指し、そして結果を出さなければなりません。
そうした思いが、この方針に込められていました。

弊社にとって"変化の年"でもある 2017 年。
新しい年を迎え、心機一転。建築業界の支援企業として、さらにみなさまのお役に立てるよう業務に励みたいと思います。
今年もどうぞ、よろしくお願い致します。





社長 挨拶の様子

社長のコラム その 4

－新年のご挨拶－

新年明けましておめでとうございます。
今年は、皆様方にとって良い年になりますようお祈り申し上げます。

私共の会社も今年創設 28 期を向かえ、時の速さに驚いているところであります。
皆様方のご支援あっての今と感謝しております。と同時に身の引き締まる思いです。
弊社の経営理念「私たちは、ＳＰＳを通じて、建設業界の支援企業として、社会の発展を目指します。」を実行に移し、柔軟かつしなやかに、日々変化する建設業界に速やかに対応できる体制を整え、今以上のサービスを提供できるよう努めて参りたいと思っております。



2020 年のオリンピックに向け、
今年の建設業界は大変ざわつく年となりそうです。
もう一度ＳＰＳ（スペース・パッケージ・システム）構想を見直し、構想実現のため、社員一人ひとりが資質向上に努め、皆様方の信頼にお応えするよう頑張って参ります。
一年間ご指導よろしくお願い申し上げます。

今年度の抱負

新年おめでとうございます。
株の格言によれば、酉年は「申酉（さるとり）騒ぐ」となっています。実際、トランプ相場で騒がしい株式市場となりそうです。
建設業を取り巻く環境も厳しさを増すと思いますが、
少しでも皆様方のお力になれるよう役員社員一同、
精一杯頑張ってまいりますので、
今年も引き続きよろしくお願い申し上げます。



専務取締役　中井 茂

新年明けましておめでとうございます。
皆様のおかげで今年も無事に新しい年を迎えることができました。
今、私たちの会社は新たなステージに入っています。
「建設業界の支援企業になる」という私たちの夢は、皆様の協力があればこそ実現するものと信じております。力をお借りしながら、一歩先を見据えた価値観の創造に努めて参ります。
本年も変わらぬお引き立ての程よろしくお願い申し上げます。



常務取締役　井上 健太

あけましておめでとうございます。
本年は、弊社においては大きな変化の年となり、更なる飛躍をしなければならない年でもあります。
昨年来、建設業界においては厳しい状況かと思われますが
【建設業界の支援企業】として、しっかりとお客様をサポートさせて頂きたいと考えております。
本年もよろしくお願い致します。



取締役部長　大橋 守道

＊　しっつ耳より情報　＊

AEDを設置しました！



専用のBOXに入っています

自動体外式除細動器"AED"を、移転後まもなく設置致しました。

近隣の皆さまにも使用して頂けるよう、駐車場の分かり易い位置に設置。

玄関門にも【AED 設置】の看板も掲げています。

また、設置時には心肺蘇生講習も実施。

人工マッサージや AED の装着など、講習でみっちり体験しました。

AED は誰でも簡単に使用できるシステム。

だからこそ、常に使用できる状態にしておくことや使用方法の周知は必要になります。



心肺蘇生講習の様子

－必要なときに、すぐに手助けを。

今後も、点検や使用方法の確認を怠らず、いざという時の手助けになるよう努めていきたいと思います。

○しっつのひとコマ　～防災訓練（避難訓練）～

11 月の中頃、防災訓練を伏見消防署南浜消防出張所さんのご協力のもと弊社社屋にて実施しました。

訓練は、約 1 時間。避難訓練から始まり、消火器や避難器具の使い方の説明をして頂きました。

避難訓練は社屋 2 階から出火したとの想定で行われ、社内から 1 階の駐車場まで全社員が避難。

訓練とはいえ、一斉に避難する様子は緊張感溢れるものでした。



消化訓練の様子

今回は全社員が社内の階段を使用し外に避難しましたが、実際の災害では必ず階段が使えるとは限りません。

階段が使えず上階から避難器具を使って避難しなければならなくなる可能性もあります。

そう考えると、避難器具を使い壁伝いに地上まで降りて行くのも簡単なことではなく、なにより気が動転していて教わったとおりに使えるかどうか想像もつきませんでした。

それでも消火器や避難器具を備えてはあっても使い方を知らなければ、いざというときに使えません。



実際の避難器具の説明

知っているか知らないか･･･たったこれだけの違いが災害を最小限度に抑えることができるか、また、自分の身を守れるかどうかということに繋がるのだと感じました。

災害は決して他人事ではなく、いつ誰が遭遇するかわかりません。

だからこそ、いざというときのために備えておくことの大切さを知りました。

器具や設備などの備えだけではなく、一人一人の心の備えも必要です。

そのための訓練でもあるので、年に一回のこの日が防災意識の向上に繋がってほしいと思います。

編集後記



年賀状ではご挨拶させて頂きましたが、遅ればせながら、新年おめでとうございます。

"しっつのことを知ってほしい"という社長の思いから、弊社の歴史上、初めての試みとして始まった『社外報』。製作当初は右も左も分からず、戸惑いと不安でいっぱいでしたが、しっつの様々な表情をお届けすべく、つたないながらも全力疾走してきました。おかげさまで【SITZ TIMES】も今号で４号目です。至らない点も多く、読みづらいことも多々ありましたが、重ねてお詫び申し上げます。

新しい年を迎え、心機一転。思考錯誤しながらも製作していきますので、今年もどうぞよろしくお願い致します。

※今号は年始のご挨拶も兼ね、近々の発行となりました。　次号は春に発行予定です。　（制作：広報担当）